

スーパーミラクル

9月に入って猛暑の厳しい毎日が続いていましたが、先週末ぐらゐから朝夕の気温が一気に下がり、スズムシの音色とともに秋の到来を感じるようになりました。

さて、保護者や地域の皆様には表題の「スーパーミラクル?なんのこと?」状態かもしれませんが、本校の児童や教職員は、まさに「スーパーミラクル」だと思っています。

正確には「スーパーミラクル放送委員会」のことです。委員会のメンバーは毎日交代で給食の時間にイントロクイズ・早口言葉やインタビューなどを放送し、短時間ですが、校内に楽しくさわやかな風を運んでくれています。給食がいつそうおいしく感じられるひとときです。

学校は、もちろん児童の学力保障がメインですが、大人になったときに「いい仕事」ができ、「いい家庭」が作れ、「いい社会人」になれるようさまざまな活動を行っています。そのために机上の学習だけでなく、教室から飛び出して、行事や体験的な学習や児童会活動を実施しています。

そんな中、スーパーミラクル放送委員会は、子どもらしい子ども主体の布引小学校の「いい校風」を作ってくれており、特別表彰してあげたいほどの活躍ぶりですので、以下メンバーを紹介します。

「給食のあとは、しっかり歯磨きをしましょう。それでは、また明日、お楽しみに〜!」



スーパーミラクルな放送委員会

スーパーミラクル放送委員会のメンバー紹介（敬称略、◎は委員長、○は副委員長）

6年生：鶴川颯太、◎縄田一創、深沢大貴、小林由依、苗村実和、○西川伊織、村田蓮

5年生：大川 遼、長田大輝、野田陽向、前川大和、松本開誠

ハッピーコンサート いよいよ今週の金曜日です

さて、2学期最初の大きな行事である“ハッピーコンサート”がやってきます。2学期に入ってから校舎のあちこちから歌声や楽器の音が響き、子どもたちの意欲が伝わってきます。先週の水曜日には、発表をよりよいものにするために、滋賀県の音楽教育を引っ張って来られた京都橘大学の佐敷教授にお越しいただき、全校合唱と6年生の合唱の指導をお願いしました。この曲のどんなところが好きで、どんな風に歌いたいかというめあてを持つことや、まわりの声を聴きながら歌うことの大切さなど、たくさんアドバイスをいただきました。

このハッピーコンサートは、「指揮や伴奏する人」「発表する人」そして「聴く人」が三位一体となり、音を楽しむ行事です。仲間と一緒に音楽をつくり上げたり、聴き合ったりして、学校教育目標のひとつである「心豊かな」児童が育ってほしいと願っています。

保護者・地域の皆様も、是非来校いただき、お子さんの発表はもちろんですが、他学年の発表もゆっくりお楽しみください。



全校合唱の様子
子どもの透き通った声・声・声

6年生の合奏「ラバースコンチェルト」は楽器だけではありません。
お楽しみに。

